



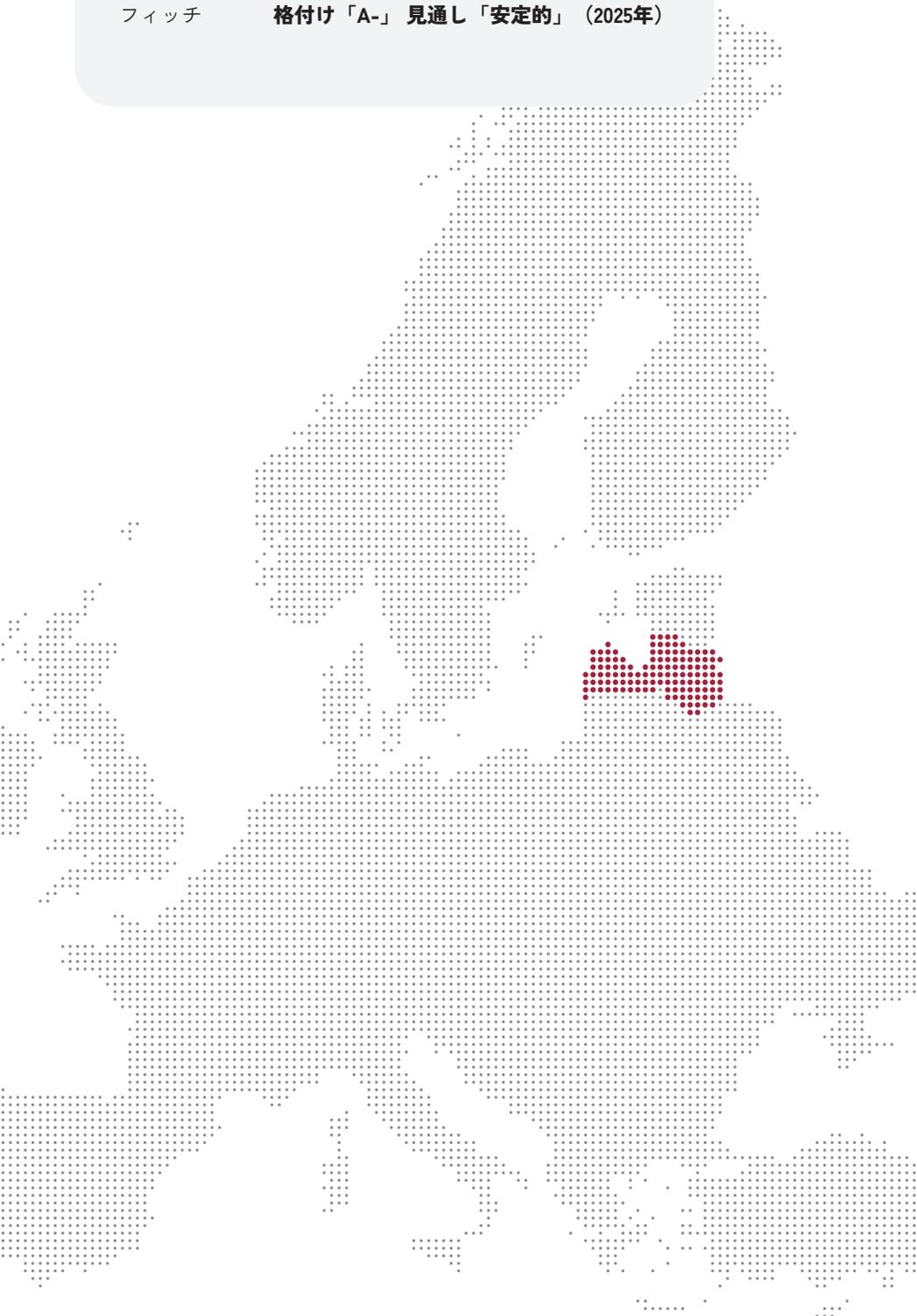
ラトビア＝
急速な
経済成長を遂げる
ヨーロッパの国

MISSION
Latvia

ラトビア

EUおよびNATO加盟国 (2004年より)

政体	議会共和制
首都	リガ
通貨	ユーロ
人口	190万人
GDP	402.1億ユーロ (2024年)
ムーディーズ	格付け「A3」 見通し「安定的」 (2025年)
フィッチ	格付け「A-」 見通し「安定的」 (2025年)



ヨーロッパ第1位

5G軍事試験場

将来の技術向上をサポートすべくインフラに多額の投資を
実行済み

OECD加盟国第2位

国際税務競争力指数

Tax Foundation (2024年)
再投資収益に対する法人税率
が0%

ヨーロッパ第2位

光ファイバー普及率

欧州委員会
Broadband Coverage
Report (2023年)

世界第3位

インターネット速度

Speedtest Global Index
(2023年)

EU第4位

再生可能エネルギーシェア

欧州連合統計局 (2023年)
ラトビアは2030年までにグリー
ンエネルギー割合60%を達成
することを目標に設定

ヨーロッパ第4位

事業運営コスト

fDi Benchmarking Report
(2023年)





優れた アクセス拠点

100以上の就航地と年間約700万人の旅客数を誇るバルト三国最大の空港

3つの不凍港と5つの経済特区

RailBaltica高速鉄道プロジェクトが進行中

2兆ドルの北欧市場への玄関口

人材の宝庫

95%が外国語を話せる

150の国籍

人口の38%がマイノリティ

教育に対するGDP支出割合が5.3%
(EU平均は約4.8%)

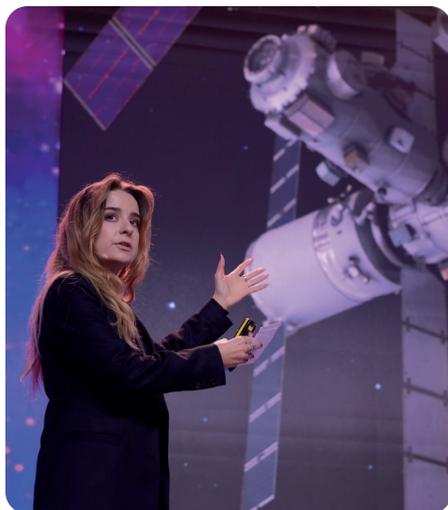
欧州委員会 (2023年)

24%の学生がSTEM分野を専攻

ラトビア中央統計局 (2024年)

管理職の56%を女性が占め
EUをリード

国連女性機関 Investment
Monitor (2023年)



ラトビアは主要セクターへの投資と協力を歓迎します



フォトニクス、スマートマテリアル、エレクトロニクス

ラトビアは、光ファイバーや5Gルーターの製造において世界をリードしています。研究分野では、マイクロチップ設計の拠点設立に向けた協力が進められており、中小企業は高品質な結晶シリコンに取り組み、バリューチェーンの強化を目指しています。また、ラトビアはスペーステクノロジーでも、特にエンジニアリングとスマートマテリアルにおいて長い歴史と実績を誇っています。

ITとテクノロジー

ラトビアは、サービス、ソフトウェア開発、通信分野において、地域のITハブとして台頭しています。5Gの展開と準備状況において、ラトビアはヨーロッパでもトップクラスであり、5Gインフラの開発に積極的に取り組むことで、新技術の導入におけるフロントランナーとしての地位を確立しています。さらに、世界初の海上5Gの導入も進められています。

スマートエネルギー

ラトビアには推定16GWという洋上風力発電のポテンシャルがあり、バルト海における水素バックボーンイニシアチブを通じ、グリーンエネルギーや貯蔵からオフテイクにいたる技術開発、そしてラトビアにおける水素エンジン航空機の開発が期待されています。技術革新には、水素貯蔵用の特殊ナノコーティングや、ロボットを活用した世界最先端の風力タービン点検・保守サービスが含まれており、ラトビアは将来的にエネルギーハブとなる可能性を秘めています。

バイオメディシン、医療技術、製薬

ラトビアはバイオメディシン分野で成功を収めており、臓器チップや、複雑な心的外傷シナリオをリアルに再現できる没入型のVR外傷トレーニング技術など、革新的なソリューションを開発しています。その高度なリソースとEU基準への適合性により、ラトビアは研究や臨床試験の拠点として評価されており、研究用「クリーンルーム」のコストパフォーマンスにおいてもトップクラスの競争力を誇っています。

防衛とデュアルユース

ラトビアの国防費はGDPの3.15%に達し、NATO加盟国の中で上位4カ国に入っています。特に、ウクライナのドローン連合で、ラトビアは防衛イノベーションをリードしています。ラトビアの企業はNATOのDIANA資金を利用して技術開発を進めています。政府もデュアルユース製品のローカリゼーションを支援しており、現地のサプライチェーンとの統合を促進するとともに、コスト削減に向けたインセンティブを提供しています。

知識集約型バイオエコノミー

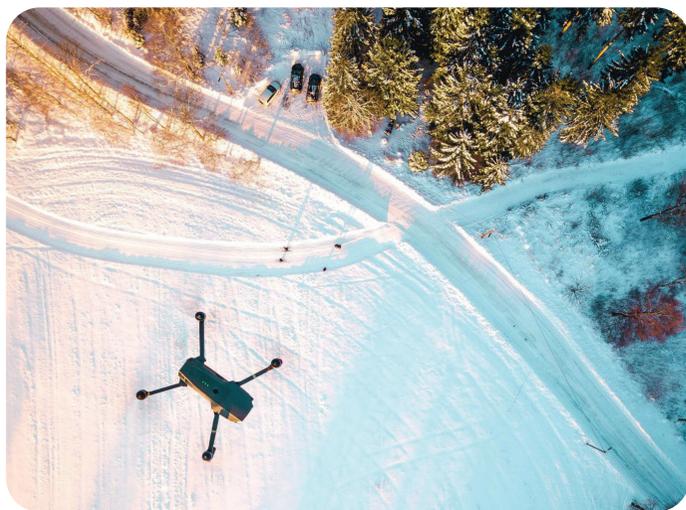
バイオテクノロジーは農林水産業における副産物のリサイクル、特にバイオリファイニングに不可欠です。ラトビアでは、地元の木材資源を加工するために革新的なサンバースト技術を用いるバイオリファイナリーの確立が進められています。また、食品輸出国であるラトビアは、イノベーションに重点を置き、食品加工能力の向上にも力を入れています。次なる戦略的な取り組みには、最先端のバイオエコノミー・プロテインプラント（ASN）の開発が含まれています。



Investment and
Development
Agency of Latvia

ラトビア投資開発庁（LIAA）は、外国投資の拡大を促進し、ラトビア企業の国内外市場での競争力を高めることにより、ビジネスの発展を推進するために設立された政府機関で、30年の実績があります。

LIAAは、投資プロセスにおける準備、開始、実行、さらに継続的なフォローアップなどのガイダンスとサポートを無償で提供しています。また、外国人投資家向けに、CAPEXを最大30%支援する資本割引プログラム、R&Dへの財政支援、従業員研修への協調融資など、多くのサポート制度を用意しています。



investinlatvia.org
liaa.gov.lv
latvia.eu

お問い合わせ先
住所: 2 PERSES STREET,
RIGA, LATVIA, LV-1442
E-MAIL: INVEST@LIAA.GOV.LV